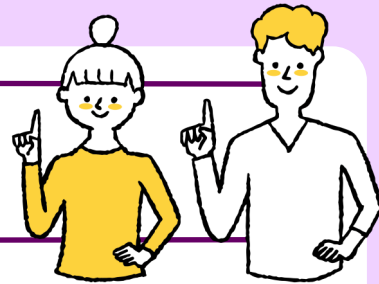


# This Month's PICK UP TOPICS!

## SUPPORT 01

### 2024年度ラーニングサポート開始 大学院生が皆さんの相談にこたえます!



新学期が始まって1か月、授業や課題など学習のこと、あるいは進学や進路のことで悩んでいませんか？ そんな時に相談できる頼りになる先輩がメディアセンターにいます。ラーニングサポートは理工学研究科の院生によるピアサポートで、様々な学科出身のスタッフ10名が、皆さんの相談におこたえます。

#### 課題やレポートなど学習に関すること以外でも相談できますか？

授業の課題や試験に向けての学習相談はもちろん、学科分け、教職課程、研究室選び、大学院進学、就職活動などの進路相談にも、経験豊富な院生スタッフが親身になって相談に乗ります。

#### メディアセンターに行かないと相談できませんか？

相談方法は、①対面 ②Zoom ③メール の3通りです。自分に合った利用方法でラーニングサポートを活用してください。詳しい案内は右記リンクから参照できます。



▲  
相談方法や  
スタッフのプロフィール  
曜日別の担当者は  
こちらから確認できます

#### 日吉に通っている1年生ですが相談できますか？

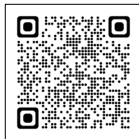
もちろん日吉キャンパスに通う学部1・2年生からの相談もウェルカムです。実際に毎年数多くの相談を受けています。時間が合わず矢上キャンパスまで来ることが難しい場合はオンライン(Zoom・メール)でも相談できます。

## NOTICE 02 Elsevier社 オープンアクセス化費用が 免除・割引されます

オープンアクセス論文掲載料 (APC) とは、オープンアクセス誌に論文を投稿する際に著者が出版社に支払う費用のことです。慶應義塾大学の購読契約により、本学所属者に対しAPCの免除・割引が適用となる場合があります。

2024年4月より、Elsevier社発行誌のAPC免除が追加されました。

右記リンクから詳細を確認のうえ、ぜひ活用してください！ほかにWiley社や Oxford University Press でAPC 免除が可能です。



APC ⇒ 免除・割引



## SUPPORT 03 英語論文 投稿セミナー



Web of Science の提供元であるクラリベイト・アナリティクス社から講師を招き、Web of Science ならびにジャーナル・インパクトファクターを活用した効率的な論文執筆・投稿フローを紹介します。

英語論文投稿に関する初級者向けの内容です。アクセプトされる論文を書くために重要な研究の進め方も交えて説明します。

【日時】2024年6月12日(水) 15:00-16:30

【配信方法】Zoomウェビナー

【対象】慶應義塾大学所属者

【講師】クラリベイト・アナリティクス

【申込】下記リンクから



初級者向け  
英語論文投稿セミナー  
Web of Science を活用した  
論文作成に役立つ  
研究メソッド  
2024 6.12 wed



通勤では天上キャンパス正面の「バイク坂」を上り職場に向かいます。息が上がり一向に耐性がつきません。角度を知りその傾斜を毎日上っているという事実で氣を取り直せるかと脳裏に浮かびました。実際にアプリを使って測定しました。12でした。この数字をみなさんはどう感じますか。もつと急傾斜を想像していた私は自身のスタミナ不足を痛感したのでした。(SM)

先生に聞いてみた！

# 私の一冊

理工学部の教員に、研究に役立つ本、思い出の一冊などさまざまな分野のお勧めの本を紹介していただきます。研究者の目で見ている世界が垣間見えるかもしれません。

Recommended by



機械工学科

長谷川 愛 先生

研究分野：スペキュラティブ・デザイン



デザインの歴史と潮流を理解するため、この本でスペキュラティブ・デザインについて学ぶことは重要です。現代社会においてデザインが多くの分野に関わる中で、デザインとは何かを再考する機会を提供します。初めは難解に感じるかもしれませんが、私の母校であるロイヤルカレッジオブアートの師匠たちが著したこの本は、デザインとテクノロジーが創り出す社会の可能性についての考察を深めます。誰のための「良い」ものづくりなのかなど、価値観を再考するきっかけとなるでしょう。

## スペキュラティブ・デザイン：問題解決から、問題提起へ。：未来を思索するためにデザインができること

Location 本館2階図書

アンソニー・ダン, フィオナ・レイビー著；久保田晃弘監修；千葉敏生翻訳；牛込陽介寄稿  
東京：ビー・エヌ・エヌ, 2015

# Spotlight

利用者の皆さんに知ってもらいたいこと、耳よりな情報を紹介します。

## ①早慶限定！電子書籍が公開中



慶應義塾大学と早稲田大学の図書館が協働して進めている電子書籍(和書)の利用実験プロジェクト「早慶和書電子化推進コンソーシアム」が2024年度も継続されることになりました。プロジェクト開始当初からの継続となる岩波書店と新たに国内出版社3社(アルク、中央公論新社、PHP研究所)を加えた計4社より、約1200点の電子書籍が提供されています。KOSMOSやウェブサイトから検索できますので、日々の学習・研究にぜひ活用してください。



## ②早慶共同！新サービス(試行)はじまりました

慶應義塾大学と早稲田大学が図書館システムの共同運用をしていることにより、新たなサービス(試行)が実現しました。今後のサービス拡充に向けて、どうぞお役立てください。

### ▶常勤教職員・名誉教授：早慶間での図書取寄せ貸出

KOSMOSからの利用登録で、早稲田の図書を取寄せし慶應の図書館で貸出手続きができます。

### ▶学生・教職員共通：IC身分証による相互入館

慶應の教職員証・学生証(ICカード)で早稲田の図書館にそのまま入館することができます。※一部未対応館あり

詳細  
CHECK

